

Weekly Michael's News

＜今週の聖句＞

2019年1月15日発行 No.94

『民衆が皆洗礼を受け、イエスも洗礼を受けて祈っておられると、天が開け、聖霊が鳩のように目に見える姿でイエスの上に降って来た。すると、「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」という声が、天から聞こえた。』
(ルカによる福音書 3:21~22)

＜課外活動指導者研修会を開催!!これから求められるキーワードは『インテグリティ』!?＞

先週末、2号館4階のミカエルホールは大勢の聴衆で埋め尽くされました!! 休日なのになぜって…? それはびわこ成蹊スポーツ大学の副学長豊田則成先生をお迎えして「課外活動指導者研修会」が行われたからです!! 豊田先生のご専門はスポーツ心理学で、日本代表選手やメダリストが大切な場面で力を発揮するためにメンタル面でサポートされています。これまで長年にわたり数多くのトップアスリートを指導されてきた先生の口から出てくる言葉はどれも分かり易く、しかも内容が濃い!! 講演内容の全てをここで紹介することは出来ませんが、特に豊田先生がこれからの時代に求められるキーワードとして語られたのが「スポーツ・インテグリティ」という言葉でした。インテグリティとは「誠実性」や「高潔性」「健全性」などと訳される言葉ですが、現在、特に来年東京五輪開催を予定している日本では、勝利至上主義が叫ばれ選手の不正や指導者の体罰や暴力の問題が頻発しています。そのような中でこの「インテグリティ」をいかに確保し、競技者も指導者も、そしてそれを応援する観客にとっても有意義なものとしていくのか…? 約1時間半の講演でしたが、私はこれからの日本の在り方に関係するすごく大きな問題を提起されたように感じましたし、特にキリスト教を土台に据えているKIUにとっても、今後常に意識し続けなければならない言葉であるように思いました。



休日でも会場は学生でいっぱい!!



講師を紹介する学生部長 小枝先生



豊田先生の話は分かり易く力強い



受講後のアンケートを記入中



質疑応答の時間では、学生や顧問・監督の先生からも質問が出ました



<先週のメッセージ>

※ここでは実際に話されたお話の要約を掲載しています

1月7日(月) テーマ:「人の心を捉えるもの」

野間 光顕(チャプレン)

昨年末、紅白歌合戦を見ていて、ある男性歌手が登場した瞬間に私の目はTVに釘付けとなった。その名前は米津玄師。彼は徳島県鳴門市にある大塚国際美術館のシスターナホールで歌っていた。この大塚国際美術館は、展示されている「モナリザ」や「落穂拾い」「ひまわり」等、約1,000点の作品全てが鳴門市ゆかりの素材・白砂による陶板で作成されている。初代館長である大塚正士氏は、会社発祥の地である鳴門市に、教育や文化の分野での恩返しを願ってこのタイルを使った美術館を建てた。今回の舞台にはミケランジェロの描く「天地創造」が再現されている。今日の聖書箇所でもある創世記の天地創造物語が示すように、新しい年を迎え、新しい命を覚える今こそ、私たちを導かれる主を覚えつつ共に歩みを進めていきたい。

1月8日(火)



※この日は音楽礼拝!! オルガニストの伊藤純子先生の素敵な演奏に耳と心を傾けました。次回は今年度最後、1月15日(火)の予定です。

1月9日(水) テーマ:「常識って何だろう?」 八木 知人(リハビリテーション学部)

常識とは何か? 広辞苑には…「(common sense)普通、一般人が持っているべき知識。専門的知識でない一般的知識」とある。私自身、常識という概念は大事であり、その中には普遍的なものだけでなく時代によって大きく変わるものも存在するように思う。例えば、病気の定義などがそうだ。私が学生時代に学んだ内容が、時代の経過によって大きく変化している事がよくある。その昔、その病気に対して絶対に行ってはいけない治療として国家試験にも出ていたものが、現在では常識として治療の根幹になっていたり、昔は不治の病と言われたものが今では完全に治癒できる病気になっていたりするケースもある。時代によって大きく変化する可能性がある常識をいかに感じとるのがとても重要であり、日常の生活に大切かつ必要な常識とどのように距離を置くのが良いのか、私もまだ答えが見つけれずにいる。

1月10日(木)

※この日は嘆願礼拝!! 新しい年を迎え
それぞれの心の中にある願いを覚え
つつ、共に祈りを捧げました。



1月11日(金) テーマ:「明日のことを思い悩むな」

八代 智(理事長)

今日の聖句「思い悩むな」は、イエスの有名な教えだが、この言葉を耳にすると、いつも思い出す人がいる。今はもう50歳ぐらいになる、まだKIUが垂水の山の上であり名前も八代学院大学であった時の卒業生で、今でも親しくしている。彼は、素面ならば大人しく謙虚だが、お酒が入るとルーズになってしまう弱さを抱えており、その為かこれまで働く場を10社以上渡り歩いている。ある時「君はもっと真面目に生きなければ…」と説教をすると「イエスは『思い悩むな』と言っている」と反論されてしまった。Apple創業者のS・ジョブズは末期がんに罹ると、毎朝鏡を見ながら「今日できる事に全力で生きよう」と言ったそうだ。新しく迎えた年、ぜひできる事一つひとつを積み重ねて、誠実に歩いていこう。(文責:野間 光顕)